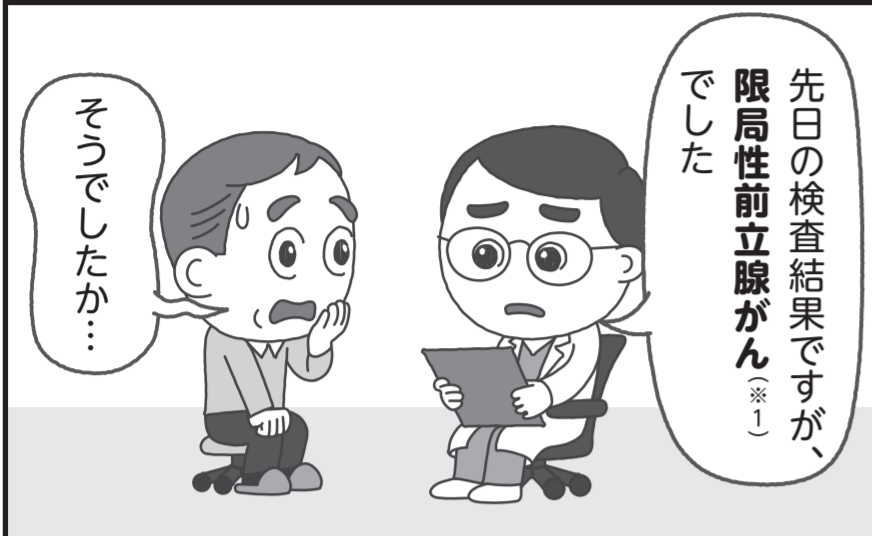


「前立腺がん」と診断されたら

知っておきたい!! 前立腺がんの重粒子線治療

保険適用

「前立腺がん」と診断されたとき



※1: 限局性前立腺がんとは、がんが前立腺内にのみ存在するものをいい、周辺組織やリンパ節への局所進展あるいは骨や肺等に遠隔転移があるものはあてはまりません。

※2: 重粒子線治療は以下の項目を満たすことが必要であることをご理解ください。

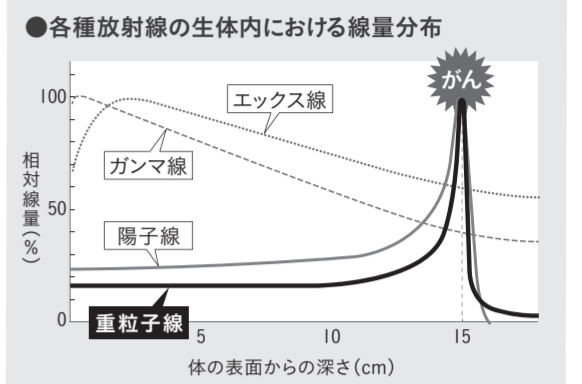
- ・病巣(がん)が限局し、広範囲でないこと
- ・治療対象部位に、過去に放射線治療を受けていないこと
- ・安静な状態で約30分間(目安)横になっていられること
- ・照射予定領域に活動性で難治性の感染症を有しないこと
- ・がんの告知を受け、重粒子線治療を患者様自らの意思で希望されていること

CHECK! 重粒子線治療とは?

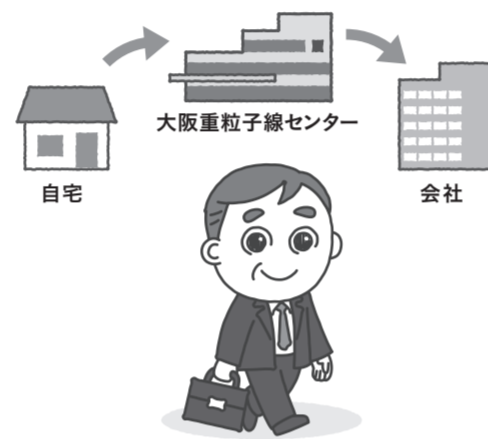


重粒子線治療は放射線治療法の一つで、照射そのもので痛みや熱さを感じることはなく、仕事や日常生活を続けながら外来での治療が可能です。

重粒子線は、体のある一定の深さで付与エネルギーのピークを迎え、その前後では弱く抑えられる特性(ブラッグピーク)があります。このピークになる深さをがん病巣の位置に合わせることで、がんだけを集中的に狙い撃ちすることができるため、まわりの正常細胞へのダメージ(=副作用)を少なく抑えることができます。



CHECK! 重粒子線治療の流れ



前立腺がんの治療は通院で12回 (週4回、原則月・火・木・金) ※祝日がない前提です。

初診 治療適応の判断	外来受診時に適応の判断、治療についての説明を行います。前立腺がんの治療適応の判断はPSA、グリソスコア、病期分類により行います。重粒子線治療はPSAの値、臨床病期とグリソスコアより、低リスク、中リスク、高リスクに分類されます。
ホルモン療法	前立腺がんでは低リスク群と一部の中リスク群を除き、重粒子線治療に先行してホルモン療法を行います。また、重粒子線治療前に治療中の腫瘍位置の再現性を保つため、金属マーカーを留置することがあります。*
固定具作成 治療計画CT撮影	照射中に位置がずれないように患者様専用の固定具を作成後、治療計画用のCTを撮影します。
治療計画 線量分布作成	治療計画および線量分布を作成します。(固定具作成から治療開始まで約10日かかります。)
治療開始	治療準備および治療とも通院になります。 1回の治療時間は位置確認等を含めて約30分(うち照射時間は1~2分)です。

*ホルモン療法は紹介元医療機関にて、金属マーカー留置は連携医療機関にて行っていただきます。

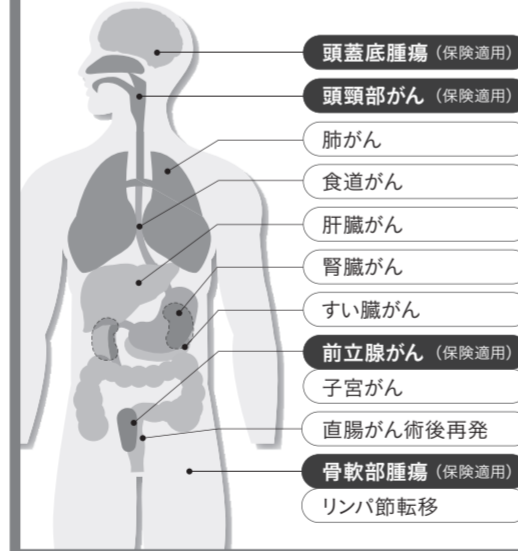
CHECK! 重粒子線治療の費用は? 自己負担限度額 18,000円~ ※下記の場合



例	70歳以上の方で、 年収:約156万円~約370万円 所得区分:標準報酬月額26万円以下	前立腺がんの照射技術料 160万円		
		保険者が支払う額 (保険給付) 【9割】1,440,000円	患者様が支払う額【1割】160,000円	高額療養費の支給額 142,000円
自己負担 1割の場合				
例	70歳以上の方で、 年収:約370万円~約770万円 所得区分:標準報酬月額28万円~50万円	前立腺がんの照射技術料 160万円		
		保険者が支払う額 (保険給付) 【7割】1,120,000円	患者様が支払う額【3割】480,000円	高額療養費の支給額 386,570円
自己負担 3割の場合				

※別途診察料・検査代・処方薬料や他院での金属マーカー留置費用が必要となります。 ※限度額適用認定証の手続きをおすすめします。 ※高額療養費の支給に関しては、厚生労働省のホームページまたは、ご加入の保険者にお問い合わせください。 ※自己負担限度額は、年齢や年収などの諸条件で変わります。

重粒子線で治療できるがん



●治療に要する回数・期間の目安

がん種別	回数(目安)	期間(目安)
前立腺がん(転移のないもの)	12回	3週間
頭蓋底腫瘍※1	16回	4週間
頭頸部がん※1 (口腔、咽喉頭の扁平上皮がんを除く)	16回	4週間
骨軟部腫瘍(切除非適応)※1	16回	4週間

先進医療※2

がん種別	回数(目安)	期間(目安)
肺がん(1期非小細胞肺癌)	4回	1週間
食道がん	12回	3週間
肝臓がん	4回 または12回	1週間 または3週間
腎臓がん	12回	3週間
すい臓がん	12回	3週間
子宮がん	20回	5週間
直腸がん術後再発	16回	4週間
リンパ節転移	12回	3週間

※臨床試験のものもあります。また、重粒子線治療施設によって治療できる部位が異なることもあります。詳しくはお問い合わせください。

※1 頭蓋底・頭頸部・骨軟部の照射技術料は2,375,000円ですが、高額療養費制度の活用で前立腺がん患者様同等の自己負担額になります。

※2 先進医療の場合、重粒子線治療の照射技術料は、照射回数に関わらず一連の治療で314万円となります。

大阪の都心部で「重粒子線がん治療」

シップヘルスケアホールディングスのグループ会社、大阪重粒子線施設管理がサポートする、がん治療施設「大阪重粒子線センター」。

大阪重粒子線センターは隣接する大阪国際がんセンターと連携するとともに、大阪大学をはじめ、多くの大学・大学病院と協力し、地域医療に貢献しています。

【協賛企業】シップヘルスケアホールディングス株式会社 大阪重粒子線施設管理株式会社

